

人と人つなぐ居場所を

○…壁一面に連なるボックスにはかわいらしい手作り雑貨。店内ではコーヒーとおしゃべりをのんびり楽しむ地域住民の姿も見られ

○…壁一面に連なるボックスにはかわいらしい手作り雑貨。店内ではコーヒーとおしゃべりをのんびり楽しむ地域住民の姿も見られ

○…壁一面に連なるボックスにはかわいらしい手作り雑貨。店内ではコーヒーとおしゃべりをのんびり楽しむ地域住民の姿も見られ

人物風土記

題字は
林文子 横浜市長



●1月に新装開店した「キボ・カフェ」の店長を務める

三浦 紀子さん

中白根在住 74歳

○…子ども会の活動を60歳まで30年間にわたり続けしてきた。立ち上がったばかりの東急白根子ども会でも、なり手のいない会長を引き受けたのがきっかけだ。当時は3児の母で、自身も子育て真っ最中。会議や事務作業など多忙を極めたが、

「やるからには最高のこどもがいくりを啓発する会に」と心に決め、夢中で走り続けた。そんな母親の姿を見せられたことは、子どもにとってもプラスになったと振り返る。50歳から旭区子ども育成連絡協議会の会長も10年務めた。

「健康生きがいくりをアドバイザー」の資格を持つ。以前からコミュニティの場をつくりたいと考えていたんです。同じ思いの仲間が集まり企業組合を設立し、閉店していたキボ・カフェを復活させた。予定がない限り、ほぼ店に立つなど、生話のほとんどがキボ・カフェという毎日。「素敵なメンパーが店を支えてくれているの」。嬉しそうに笑顔から、充実ふりがうかがえる。

○…20代の時は日本橋の百貨店に勤めており、ポスターのモデルを任せられたことも。昔の思い出と言いつつ、見せてくれた写真には目鼻立ちがはつきりとした清楚な女性の姿。「当時は借りてきた猫みたいにおとなしかった。子ども会で大声出したりしてたから、性格も変わっちゃった」と明るく笑い飛ばす。思わず目を引く笑顔は健在で、今もなお人を引き寄せる。キボでも人を呼び寄せ、新たなコミュニティをつくっていく。